

会議等名	平成30年度 第2回 海老名市総合計画審議会
日時	平成31年3月12日(火) 10:00～11:30
場所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	<p>委員：桐生委員、武井委員、萩原委員、深須委員、藤田委員、内山委員、勝田委員、杉山委員、舘委員 (欠席：今泉委員、小林委員、濱田委員)</p> <p>事務局：財務部長 柳田理恵 財務部次長 藤川浩幸 財務部参事兼企画財政課長 清田 聡 企画財政課政策経営係長 川崎 宗一 企画財政課政策経営係副主幹 志村 政憲 企画財政課政策経営係主任主事 関野 大輔</p>
1 開 会	
2 海老名市次期総合計画策定に向けた諮問について 内野市長から藤田職務代理へ諮問	
3 議 題	
(1) 海老名市次期総合計画骨子案の内容審議について 次期総合計画に関する資料に基づき、事務局から説明。 <質疑・意見等>	
委員：行政分野の「6 消防・防災」に治安についての内容を盛り込んでほしい。	
事務局：当初、「消防・防災」は「安全・安心」としており、その中に「地域安全」や「交通安全の推進」の内容を入れていたが、現在は「1 市民生活」の「1-5 地域安全・交通安全の推進」に掲載している。	
委員：基本理念の「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」について、今後10年、市民の心を育てていくという意味で、「健康」と「安全・安心」が大切であり、その先にあるのが「笑顔」だと思う。海老名をイメージする際、とても良い表現であると思う。	
また、質問になるが、第四次総合計画では6つのフィールドであったが、それに代わるものが、8つの行政分野になると認識している。個人的な感覚だが、行政分野だと行政がやるべきことを分けたような縦割りのように感じてしまう。今後10年を見据えると、どんなことが起こるか分からない。そのようなことを踏まえると、フィールドの方が良いのではないかと考えてしまうのだが、行政分野にしたねらいを教えてください。	
事務局：この先、人口減少など不透明な社会に突入する。こうした中、「理念的」、「シンプル」、「分かり易い」というような計画を策定することとなった。一方で	

理念的というとは計画的ではないのではないかという声があることも確かである。今まで以上に縦割りではなく横連携が重要なことは当然である。今回の行政分野は市の機構によく似ており、市民の皆さまから見ても分かり易いのではないかと考えている。次期総合計画の内容は、分かり易く、シンプルになるとともに、第四次総合計画の6つのフィールドに代わるものが、行政組織とリンクすることで、実践的で具体的な計画になるものと考えている。

委員：「未来創造プラン 2020」の理念はどこから生まれたのか教えていただきたい。

事務局：新しい計画とした背景として、まず大きな問題としては、これから人口減少社会に向かっていくことである。統計によると、現在の日本の人口は1億2千万人余りで、既に人口減少が始まっている。明治維新の頃は3千万人～3千5百万人と言われている。明治維新から今年で150年を迎える。これまで150年かけて3千5百万人から1億2千万人余りまで増えてきたという、そうした人口のカーブを描いている。ところが、人口推計によると、今後100年間で一気にジェットコースターの一番トップから駆け降りるように人口が減っていくと言われている。今まで迎えたことがない、今後何が起こるか予測のつかない社会に突入する。地方によっては、既に空き家問題や相続問題、事業者にとっては事業承継の問題等が起こっている。このような問題にどのように対応していくのか？今までに見本のない時代に入っていく。2点目としては、今後、新しい技術が生まれてくるということ。平成の時代はインターネットの普及で世の中が大きく変化したが、今後は、今まで以上のスピードで変化していくと予測されている。AIやIoT、ロボット技術等の普及や、SNSやシェアリングエコノミー等により、新しい価値観が生まれてくるのではないかと考えている。こうしたことを一言で言えば、「不透明な時代」や「予測できない時代」と考える。このような中、これから策定する新総合計画は、理念的と申したが、一方で、ある面では実践的である。

また、事務事業については、各々の部署において、しっかりと計画を策定している。よって、新総合計画は大きな方向性は総合計画で示して、それぞれの行政分野にそれぞれの個別事業、個別の施策がぶら下がっているということを見せるようにして全体像を示したい。このような考えのもと、新総合計画を一言で言えば「理念的な計画」という意味を持たせている。

委員：今後10年間で外国籍住民が増加することが予測されることから、「1 市民生活」の中の政策に取り入れていただきたい。

事務局：外国籍住民への対応については、「1 市民生活」の「1-2 人々が尊重しあう社会の実現」の⑧において記載されている。

委員：外国籍の子どもへの対応はどのようにされているか教えていただきたい。

事務局：市内の学校は、国際級を配置し、外国籍の子どもへ配慮されている。

委員：今後、健康寿命を踏まえ、歩くことが重要だと考えている。こうしたことから、今後、遊歩道や散歩道を整備していただきたい。歴史等を活かし、目久尻川などの市内の河川散歩道などを活用し整備すると面白いと思う。

市民の健康寿命が延びたり、市外の方も海老名に魅力を感じて「海老名に住んでみたい」と思っただけなのではないかと考えている。

事務局：海老名には「横須賀水道道」があり、水道管の役割はすでに終わっていることから、関連する自治体に用地の売り払いが進められている。海老名市も少しずつ購入している。その中で、生活道路の一部となっているので、遊歩道や歩道の整備を順次進めている。委員がおっしゃるとおり、それらを何かに関連付けることができると良いと考えている。

委員：駅等に設置されている公共施設等の案内看板が設置されているが、初めて海老名を訪れた方にとってはとても分かり易くて良いと思う。

事務局：いわゆる街中のサイン表示である。

委員：農家として田んぼを持っているが、散歩される方で田んぼの畦道を歩く方が多い。畦道は田んぼの命なので壊れるととても困る。そうしたことの注意喚起をしていただけるとありがたい。

委員：①ビナレッジの駐車場はいつも満車のため、利用したくてもできない方がいると聞いている。何か対策を考えていただけるとありがたい。

②外国籍住民の側面だけでなく、マナーの悪い外国籍の方の問題で困っている市民に対するケアも考えていただきたい。

③「2-5 子育て支援の充実」には、産める方みの記載となっているので、産みたくても産めない方に対する一文があってもよいと思う。

④「6-1 消防力の充実」の③に「消防団の活動をサポート」とあるが、消防団員が減少している中、どうやって団員を増やしていくのかというフォローも必要と考える。

事務局：①ビナレッジの駐車場の件は、市長タウンミーティングにおいても意見が出されており担当課も把握している。今後、対策について検討されていく。

②外国籍住民への対応については、担当課へ伝える。

③産みたくても産めない方に対する一文については、これに対する政策を「打ち出しているので、記載の有無について担当課と調整させていただきたい。

④学生が消防団員として社会貢献したことを企業にPRできる「学生消防団活動認証制度」などの施策を進めている。

委員：産みたくても産めない方に対する不妊治療については、県と市、それぞれから補助金が出ることは承知している。しかし、認知度が低く分かりにくいという声もある。手続きも複雑とのことであるが、こうしたことも是正していただけるとありがたい。

事務局：担当課に伝える。

委員：「5-1 ひびきあう教育の実現」の記載に不登校支援が見えづらい。

事務局：今回理念的な計画という意味では具体的に施設名が記載していないが、不登校支援については、教育支援センター、いわゆる「えびりーぶ」が所管しており、政策の⑧にあたる。しかし見えづらいという意見を踏まえ検討させていただく。

委員：今後、少子化の時代に入中、学校施設はどうなっていくのか？

事務局：今年度、教育委員会において学校施設再整備計画を策定したので、市としては、この計画に基づき進めていく。

委員：「5-1 ひびきあう教育の実現」の政策の⑨「学校は、乳幼児から高齢者まで集い、学ぶことのできる、地域コミュニティの拠点施設となっています。」の中に「乳幼児から高齢者まで集い」とあるが、学校とどう関連するのか？

事務局：市内全小中学校において、平成30年度中に学校運営協議会が立ち上げられた。これにより学校の教員と地域の方々が学校のことについて議論する場が設けられた。こうした意味で、学校は児童生徒と教員だけではなく、地域の方が入れるようになったと考えている。

委員：意見になるが、今後、学校施設再整備計画を進めていく上では、学校の統廃合や複合施設を含め、地域コミュニティの観点からも検討していただきたい。

事務局：承知した。

(2) その他

平成31年度海老名市第四次総合計画実施計画が完成し、配付するので、ご高覧願いたい。

<質疑・意見等>

特になし

3 閉会

以 上